ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-3	調査位置				北　緯	36 ° 20 ’ 34.0000 ”
発注機関	栃木県足利土木事務所		調査期間	2010-01-21 ～ 2010-02-26		東　経	139 ° 28 ’ 12.0000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	41.73 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 0.00 °
総掘進長	4.30 m	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	41.43	0.30	0.30		盛土 (BS)	暗灰			シルト主体の盛土材		
	40.73	0.70	1.00		風化土	暗灰			風化角礫混じり土砂		
1	39.73	1.00	2.00		風化粘板岩 (SI)	暗灰			風化粘板岩片を取り込んだ破砕状の風化粘板岩が主体 縦亀裂、∠70 ° 位が顕著に発達する コアは分解すると復元できない		
2	37.43	2.30	4.30		弱風化粘板岩 (SI)	黒灰			柱状コアが主体で100%採取されるが亀裂多く分解し易い 亀裂面は密着性、褐色帯びる コアは粘板岩主体に互層状に砂岩を介在し、層理が発達する 部分的に亀裂が多く破砕状粘板岩となる。中硬岩質である。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0 ｜ 10	10 ｜ 20	20 ｜ 30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	50／9			50／9	>50
1.24					
2.00	47	3／1		50／11	>50
2.11					
3.00	50／3			50／3	>50
3.03					
4.00	50／2			50／2	>50
4.02					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
3.25	B-3-1	
3.35		

室内試験

掘進月日

01/22

01/25